



平成23年10月28日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C C E S S
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 室 伏 伸 哉
(コード番号 4813 東証マザーズ)
問 合 せ 先 社 長 室 長 須 田 昌 樹
(T E L . 0 4 3 - 2 1 2 - 2 2 3 2)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年4月12日に「平成24年1月期第2四半期および通期業績予想に関するお知らせ」にて公表しました平成24年1月期連結および個別の通期（平成23年2月1日～平成24年1月31日）業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成24年1月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年2月1日～平成24年1月31日）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	17,000	1,600	1,600	250	637.88
今回発表予想 (B)	13,700	△950	△950	△2,250	△5,739.50
増 減 額 (B-A)	△3,300	△2,550	△2,550	△2,500	—
増 減 率 (%)	△19.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年1月期)	25,120	4,525	4,317	423	1,079.87

平成24年1月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年2月1日～平成24年1月31日）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	10,000	1,200	1,200	80	204.12
今回発表予想 (B)	9,300	650	500	△1,100	△2,805.98
増 減 額 (B-A)	△700	△550	△700	△1,180	—
増 減 率 (%)	△7.0	△45.8	△58.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年1月期)	22,316	4,364	4,291	△1,552	△3,962.42

2. 修正の理由

スマートフォンの世界的な市場浸透が急速に進む中、フィーチャーフォン向けのソフトウェアのロイヤリティ

イー収入の落ち込みが当初の想定以上に大きいことに加え、新規事業への事業シフトが遅れたことにより、通期連結売上高は前回発表予想と比べ19.4%減少し13,700百万円となる見込みであります。

前期より継続して全社での包括的なコスト削減に取り組んでおりますが、売上高の減少幅を吸収できず、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想と比べ大幅に減少する見込みであります。

今後は、当社業績を改善するため、会社運営体制・事業推進体制の抜本的な見直しを行なってまいります。具体的な会社運営体制としましては、本日開示いたしました「人事異動に関するお知らせ」のとおり経営層人事を刷新することにより、各事業分野の責任を担う経営層が密に連携することにより、経営判断の適正化・スピード化、事業推進の加速、相互牽制機能の強化等を図ってまいります。また、事業推進体制としましては、選択と集中、徹底した費用対効果の検証に基づく事業展開を行うことにより、当社業績の早期健全化を実現します。そのため、既存事業については厳格な事業評価に基づく取捨選択を行う一方、当社事業の強みを最大限に発揮する分野として、エンタープライズ向けソフトウェア開発事業の展開、ネットワークソフト事業においてイノベーションを牽引すべく取り組んでおりますクラウド向けソリューション事業のより一層の推進、海外市場・新興市場への事業展開等をとくに推進してまいります。

尚、これら業績改善策および事業展開方針につきましては、当社第3四半期決算発表において、あらためてより詳細を公表させていただきます。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

以上